http://www.broadbandschool.jp

ブロードバンドスクール協会
NEWS BBS
2007年　第7号

発行日：2007年6月25日　発行所：ブロードバンドスクール協会 / 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-23-8 エリート・イン・清水坂 / 電話 03-3836-1377

日中高校生による交流学習 テーマは、万国博覧会（EXPO）

3月31日、大阪で 日中合同の研究発表会！

この交流学習は独立行政法人 日本万国博覧会記念機構の助成金で行われました。

昨年の秋から、中国・上海の華東師範大学第二附属中学校の高校生と、早稲田大学本庄高等学院の高校生が、「万国博覧会」という共通テーマのもとに研究を進める国際交流学習を行ってきました。二〇一〇年に上海万博を開催する中国と過去三度の万博を経験している日本の若者たちが、お互いの知恵を交換しあう中から、両校の、さらに両国の相互理解と友好関係をより確かなものにしていこう、というのがこの交流学習のねらいです。3月31日、両校の生徒や指導教員らが大阪に集い、その成果を報告し合う研究発表会が開催されました。（ブロードバンドスクール協会は、このプロジェクトを積極的に支援してきました。）

■交流プロジェクトの経過

9月28日：上海で両校、ブロードバンドスクール協会の三者間にて交流事業実施の協定書を締結。
★11月頃から両校にて生徒が研究を開始。

1月24日：Skype を用いて音声により早稲田側からの中間発表を実施。
★両校生徒、研究を続ける。

3月17日：華東師範と早稲田を結び、POLYCOM を用いたテレビ会議を実施。研究の進捗状況や発表の予定などを話し合う。

3月30日：華東師範の生徒7名と指導の教員2名が関西空港に到着。さっそく関西大学に移動して、両校生徒が対面し、夜遅くまで資料のまとめや発表の準備・調整を行う。（ブロードバンドスクール協会理事をつとめる水越敏行理事の協力により関西大学から発表のための準備会場を提供していただいた。）

3月31日：'70 大阪万博の行われた万博記念公園に隣接するホテル阪急エキスポパークにて、研究発表会。

発表する早稲田大学本庄高等学院の生徒たち

発表する華東師範大学第二附属中学校の生徒たち

環境、科学、文化、経済…テーマごとに成果を英語で発表

日中両国の高校生たちによる発表は、3月31日の午後に、大阪千里の万博記念公園に隣接したホテル阪急エキスポパークの大会議室で行われました。この発表会には、上海市の華東師範大学第二附属中学校の生徒7名（引率の先生2名）と、早稲田大学本庄高等学院の生徒23名（引率の先生3名）の他、関西の教育関係者を中心にたくさんの方が訪れ、日中の高校生による研究報告に耳を傾けました。

両校の生徒たちは、研究テーマごとに、環境班、科学技術班、文化班、経済生活班の4グループに分かれ、研究の要旨をまとめたスライドを大スクリーンに表示しながら、英語で発表しました。

一連の交流学習を終えて、早稲田大学本庄高等学院の劉佳音君は次のように語っています。「テーマを持ってそれを一緒に調べることで、協調性を持つことができ、調べている間に意見が生まれたらそれについて討論することもできる。そうすることで、非常に深い交流ができました」

生徒主催の懇親会や京都観光で交流を深める

発表会の後、早稲田の生徒主催による懇親会が開催されました。翌日には、日中両国の高校生と関係者が集って京都観光。金閣寺や清水寺などを訪れ、交流学習で培われた友情を深めました。

発表会の翌日、金閣寺を訪れた日中両国の高校生と引率の先生方

「平成18年度活動報告・特別講演会」開催

全国から教育関係者が集い、教育の情報化推進への熱い思いを分かち合う！

2007（平成19）年5月31日、東京・北青山のTEPIAプラザ（機械産業記念館）において、NPO法人ブロードバンドスクール協会「平成18年度活動報告・特別講演会」が開催されました。この会には首都圏のみならず全国から多くの教育関係者が参加しました。

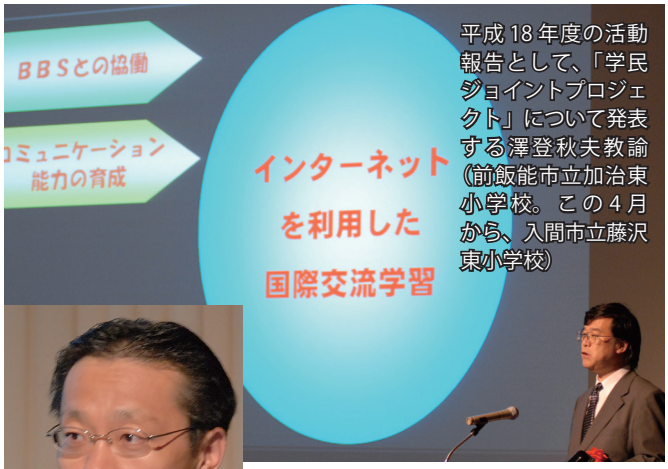
教員のICT活用能力と評価基準について講演する清水康敬理事長

プログラムは、清水康敬理事長の講演で幕を開け「教員のＩＣＴ活用能力と評価基準」について、その重要性や真のねらいが丁寧に紹介、解説されました。

続いて、「平成18年度活動報告、平成19年度活動計画」。当協会の森本登志男理事がナビゲーターとなり、平成18年度の活動を報告し、主要な活動を中心になって牽引した3人のゲストにも発表をしていただきました。

プログラムの最後には、新たに情報教育担当のポストに着任した文部科学省初等中等教育局の安藤慶明参事官が登壇し、「教育の情報化と教員のＩＣＴ活用指導力」について講演しました。

安藤参事官はこの講演の最後に、意欲的・先進的取り組みを支援する新規プロジェクト「先導的教育情報化推進プログラム」や、8月に文部科学省とブリティッシュ・カウンシルの主催で予定されている教育情報化に関する国際シンポジウムについても触れ、教育情報化推進へのさらなる意気込みを示しました。



平成18年度の活動報告として、「学民ジョイントプロジェクト」について発表する澤登秋夫教諭（前飯能市立加治東小学校。この4月から、入間市立藤沢東小学校）

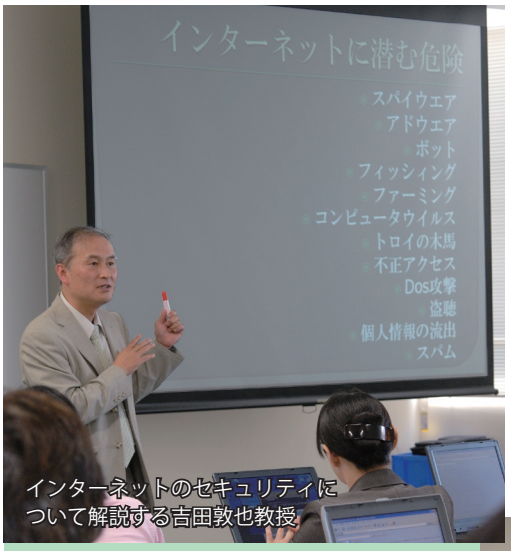
安藤慶明参事官

ブロードバンドスクール協会は、学校のブロードバンド化、教育の情報化、教員ＩＣＴ利活用を支援する活動の一環として「ブロードバンドスクール（ＢＢＳ）キャラバン」を全国で展開しています。徳島県では、その活動を「ＮＰＯ法人徳島インターネット市民塾」が共同担当しています。

平成19年度「ＢＢＳキャラバンin徳島」の第1回として、「Hi-家庭」などのネット活動で実績を挙げ全国的に注目されている「徳島県高校教育研究会家庭学会」所属の教員を対象とした勉強会を、徳島大学地域創生センター共催のもと、5月22日に徳島大学日亜会館で行いました。

ブロードバンドスクールキャラバン2007

今年度は徳島からスタート！ NPO法人徳島インターネット市民塾と共催



インターネットのセキュリティについて解説する吉田敦也教授

講師：徳島大学地域創生センター長　吉田敦也教授

《プログラム》

- ●キックオフレクチャー（9:30～10:30）
  社会人のためのユビキタス活用学習事例
  ――生涯学習時代をいきいきと生きるために――
- ●ICT課題解決セミナー（10:45～11:20）
  インターネットセキュリティの基礎
- ●セレクト研修（13:30～16:00）
  パソコン操作スキルアップ＆教材研究

この記事の詳しい内容は、ＢＢＳ協会のホームページに掲載されています。ぜひご一読ください。http://www.broadbandschool.jp